



フェアトレードタウンなごやのススメ

Vol. 6



コーヒーの未来を 一緒に考えよう



2050年までに、コーヒーが飲めなくなる！？

フェアトレードタウンなごやでは「地球とのフェアトレード」を合い言葉に、
途上国だけではなく、国内・地域内におけるフェアなトレード、
自然環境に対してのフェアなトレードを目指しています。

今回は、2050年にコーヒーの栽培地が激減すると言われる
コーヒーの2050年問題をテーマに、
コーヒーが飲み続けられる地球環境や生産地の人々について
何ができるのかをいっしょに考えていきたいと思います。

オンラインセミナー 参加無料

令和5年 **3月18日** (土)
15:00—16:10 定員：100名

申込期限：令和5年3月10日（金）必着
※申込方法は裏面をご覧ください

主催：名古屋市

協力：NPO法人 フェアトレード名古屋ネットワーク（FTNN）

後援：独立行政法人国際協力機構 中部センター（JICA中部）

フェアトレードとは？

開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで生産者や労働者の生活改善と自立を目指すものです。

その理念は、環境・貧困・人権・平和・開発など地球規模の課題解決につながります。





プログラム



開会挨拶

講演1 SDGs／気候変動と、コーヒー2050年問題



気候変動の影響等により、これまでコーヒーを栽培していた土地での栽培ができなくなりつつあります。そして、2050年までにコーヒーの生産量が激減し、カフェや喫茶店でコーヒーが飲めなくなるかもしれない、そんな問題をみなさんと共有していきます。



池島 英総さん

(株)SHANTI SHANTI COFFEE FARM 代表取締役
ネパールで珈琲農園を経営し、愛知県にモルカフェをOPEN。珈琲が飲み続けられるような未来を作りたいと活動中。

講演2 コーヒー生産地での課題や取り組み



コーヒー産地で働く人々が、子どもたちの世代まで10年後、20年後も変わらずコーヒーの収穫ができるように「土壌改良」により支援を行っています。
コーヒーの生産技術が進歩する一方、これから世界各地の貧困なコーヒー生産地ではコーヒーが収穫できなくなるかも知れないという差し迫った問題を抱えています。



野村 憲一さん

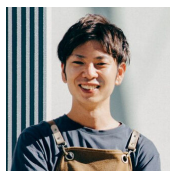
NPO法人 コーヒー生産地と協働する会 理事
2018年9月18日に理事長とコーヒー生産地と協働する会を設立。
コーヒー生産者に対して自ら土壌の改良及び維持が可能となるよう支援活動中。

パネルディスカッション フェアトレードでコーヒーの未来を考える

これまでのように、コーヒーが飲める未来は来るのでしょうか。
私たちにできることなどを、みなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

パネラー

池島 英総さん 野村 憲一さん
甲斐 慶太さん

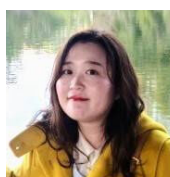


甲斐 慶太さん

FabCafe Nagoya ストア・マネジャー
大手カフェチェーンに10年勤務後、FabCafe Nagoyaの立ち上げに携わる。名古屋における新たなコーヒーストーリーの繋ぎ手として、共創を楽しむ活動を実践中。

ファシリテーター、全体司会

鈴木 日奈子さん



鈴木 日奈子さん

世界フェアトレード・デー・なごや
実行委員長

真宗大谷派僧侶。誰も犠牲にしないフェアトレードの理念に共感し、学生時代から推進イベントを運営。

申込方法

QRコードもしくはURL(<https://logoform.jp/form/mX9C/200584>)より、申込フォームにてお申し込みください。

または、下記申込み先へ「件名：フェアトレードタウンなごやのススメ申込み①氏名
②参加人数③団体名（あれば）④電話番号を明記の上メールかFAXにてお申し込みください。



※受講の可否について後日Eメール、FAXにてお知らせします。
※申込多数の場合は抽選とさせていただきます。
※個人情報は、本セミナーの運営目的にのみ利用します。
※本セミナーはオンラインセミナーのため、受講にはインターネット接続環境が必要です。

申し込み期限：
令和5年3月10日（金）必着

申込・問い合わせ 名古屋市環境局環境企画課

TEL:052-972-2698 FAX: 052-972-4134
メール: a2662-01@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp